



「地域を愛し返す子どもが考えたことを可能にする」学校運営協議会に

本年度の取組の重点の一つに、「児童生徒が当事者として参加・参画することによる学校運営協議会の一層の充実」をあげています。昨年度は、中学校を中心に、この取組が進められてきました。

4/30、東岐波中学校では、本年度最初の運営協議会で、生徒が40分間の熟議を主催しました。会に先立つ生徒会長の「今年は地域を愛し返し、地域全体でつながっていきたい。」という言葉がとても印象的でした。生活向上、環境改善、情報発信、学力向上の4部会に分かれ、それぞれ生徒が考えている取組を基に委員さんとより良いアイデアを出し合いました。

生徒の真剣な姿に、委員さんも文字通り前のめりになって意見を交わされる姿があちこちで見られました。協議後の、「今日は東岐波地区全体で目標が共有できた」という生徒の言葉が会の充実ぶりを示しています。



小学校でも、児童がまさに「参画」する学校運営協議会が行われました。5/13、上宇部小学校では、8人の運営委員会の児童が参加しました。学校評価アンケートで、自分たちがよく頑張っていると思っていた挨拶に対する保護者評価が30%以上も低かったことに疑問を感じ、自分たちで挨拶の実態を調べました。それを基に取組を考え、「大人はどんな挨拶をされるとうれしいのか」「どんな挨拶をしたら保護者に認めてもらえるのか」などについて、委員さんに意見を求めました。

堂々と発言する児童の姿に、委員さんも同じく前のめりになり、大変多くのアドバイスをされていました。協議会の終わりに、会長さんは、「今日は子どもが参加した記念すべき第1歩となった。これから、この会を子どもが考えたことを可能にする会にしていきましょう。」と締めくくられました。

中学校のみならず、小学校でも子どもが参画する学校運営協議会が開催され始めています。学校からの説明が中心の会から脱却し、当事者である子どもが参加・参画し、自分たちの課題を地域の方々とともに解決していく協議会に変えていきましょう。



コミュニティ・スクールに関する活動情報をお寄せください。市ウェブページ更新に活用します。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課

Tel 0836-37-2780 E-mail: ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp